

# Infection Control News

院内感染対策 瓦版

2011年 6月号

水島協同病院 院内感染防止対策委員会 ICT 発行  
作成:松岡 利恵

## 岡山県感染情報センターからのお知らせ

<http://www.pref.okayama.jp/hoken/hohuku/tuuchi/top.htm>

5/12 にホームページが開設されました。  
県内の感染症に関する情報が誰でも閲覧  
出来ます。  
ちなみに県インフルエンザ注意報ははまだ  
発令中です。

## リケッチア感染症(「日本紅斑熱」「つつが虫病」)に注意しましょう!

県内で今年2例目のつつが虫病が県北で発生しました。

レジャー・作業で野山や草むらに入った後、しばらくして高熱が出て、赤い発疹がある時は  
速やかに医療機関を受診しましょう。

	日本紅斑熱	つつが虫病
原因	<p>日本紅斑熱リケッチア (<i>Rickettsia japonica</i>) を保有するマダニに刺されて感染</p>    <p>ヤマアラシチマダニ (成虫:3mm位)</p>	<p>つつが虫病リケッチア (<i>Orientia tsutsugasushi</i>) を保有するつつが虫に刺されて感染</p> 
	<p>全国では毎年 100 人以上の患者が報告されています。2009 年 10 月、岡山県では初めて発生しました。</p>	<p>全国では毎年 300 ~ 400 人の患者が報告されています。関東 ~ 九州では秋から初冬に主に発生があります。</p>
症状	<p><b>発熱・刺し口・発疹(胸、腹部、背部から全身に広がる)</b> が3大特徴です。 重症の場合は死に至ることもあります。 <b>人から人への感染はありません。</b></p>	
診断	<p>血清診断:末梢血からの病原体遺伝子の検出 (岡山県では環境保健センターでしかできません) 4類感染症(直ちに最寄りの保健所に届け出る)</p>	
治療	<p>テトラサイクリン系抗菌薬が有効です。 <b>早期診断 早期治療がとても大切ですので、もしも と思ったときは早めに受診しましょう。</b></p>	
予防	<p>作業やレジャーなどで野山や草むらに入るときは、マダニ・ツツガムシに刺されないよう次のことに注意してください 草むらなどに入るときは、長袖、長ズボン、手袋、長靴等を着用しましょう。 肌の露出部分には、防虫スプレーを噴霧しましょう。 地面に直接寝ころんだり、腰を下ろしたりするのは止めましょう。 帰宅後はすぐに入浴し、体をよく洗い、新しい服に着替えましょう。着ていた服はすぐに洗濯するか屋外で天日干ししましょう。</p>	